

平成18年度当初予算 主な新規事業一覧

(総合企画部 :旧地域計画局)

番号	事業名及び所管課	事業の概要
1	圏域振興方針(仮称)策定事業費 [地域政策室]	県内5圏域(岐阜、西濃、中濃、東濃、飛騨)の目指すべき将来像とそのための取組方針を示すため、市町村等の意見を聴きながら、県が主体となって圏域毎に振興方針を策定
2	地域づくり団体交流広場「えんざ」推進事業費 [地域政策室]	地域づくり団体が一堂に会する(仮)「えんざの会」の開催、地域づくり団体間のコーディネートなどの活動支援を通じた、地域づくり団体をつなぐネットワークの充実 【新】(仮)「えんざの会」開催 ・県内地域づくり団体の相互交流・情報交換の場の提供 団体活動支援 【新】団体相互の意見交換会の開催 【新】地域づくりアドバイザー派遣 【新】情報交換支援 ・事例集・情報誌の発行、ホームページ作成 全国の地域づくり団体との交流支援 地域づくり団体コンシェルジュ ・地域づくり団体からの質問・相談にワンストップで対応 【新】ネットワークの裾野拡大
3	地域づくり推進費 [地域政策室]	【新】地域課題調査研究事業費 県が地域振興を推進していくうえで課題となるテーマについて、市町村と連携した調査研究及び地域振興施策の立案 ・専門調査機関への委託調査 ・研究テーマ例：合併市町村における周辺地域の振興、コミュニティビジネスによる地域づくり、地域通貨 【新】「大学の知恵で地域の問題解決！」サポート事業費 市町村が大学の知的資源を有効に活用して課題解決を図ることができるよう、県内大学と市町村の連携を促進するプラットフォーム(大学情報と市町村の課題をデータベース化し、相互に検索可能なシステム)を構築 ・大学情報の収集 ・市町村との意見交換会等による地域課題の把握 ・大学と市町村の情報を提供するライブラリー作成
4	山村振興対策費 [地域政策室]	【新】過疎・山村地域における遊休施設活用ガイド(案)作成事業費 ・過疎・山村地域の遊休施設を活用し、都市部団塊世代等を招き、地域活力の維持向上につなげるため、実態調査を実施の上、遊休施設活用ガイド(案)としてまとめ、市町村・関係団体等に配布する。 【新】「ぎふの田舎から元気発信！」サポート事業費 ・県内の過疎・山村地域の情報(雇用・就業情報、空き家等住宅情報等)をまるごとキャッチできる総合サイト「ぎふの田舎から元気発信！ポータルサイト」の開設による情報発信 【新】「光れ！田舎の宝」サポート事業費 ・過疎・山村地域の住民自身による、地域資源・地域固有の魅力再発見・魅力向上などの動きに対し、その助走期間に人的・財政的に支援
5	海外技術研修員受入事業費 [国際室]	開発途上国から研修員を受け入れ、当該国の経済、社会の発展に必要な技術を習得させ、地域レベルでの国際協力に貢献 受入人数 1名(ブータン王国) 研修機関 森林文化アカデミー 研修期間 3ヶ月